

## 政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号						
支出年月日	2021 年 7 月 2 日					
項目 (該当項目に○をつけてください)	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	
	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費	

領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできます。)

山口 みさえ



「しんぶん赤旗」日曜版 \* 1 930

930

2021 6

日本共産党西宮・芦屋  
地区委員会 〒663-8234  
西宮市津門住江町5-11  
TEL 0798-23-2281

\*印は税率8%

7 2



充当内容  
(按分の計算方法)

その他

- \* まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- \* 用紙裏面には何も貼付けないでください。
- \* 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

## 政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号					
支出年月日	202 <sup>11</sup> 年7月20日				
項目 (該当項目に○をつけてください)	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費
	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費
領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできます。)					

充当内容  
(按分の計算方法)

$$55,417 \div 2 = 27,709$$

その他

- \* まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- \* 用紙裏面には何も貼付けないでください。
- \* 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

領収書



日付: 2021年7月20日

領収書番号

山口みさえ 御中

ラクスル株式会社

〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイビル 1F  
tel: 03-4577-9200 mail: contact@raksul.com

**¥55,417-**

但し 商品代として  
上記金額を正に受領いたしました。

ご注文番号	商品名 / 商品仕様	部数	出荷日	金額
	チラシ・フライヤー, A3, 両面カラー, 光沢紙(コート), 薄手: 73kg, 折り加工: DM折り(2つ折り+巻き3つ折り)	10,000部	受付日確定後 8日以内	¥49,919
注文内容:			商品:	¥49,919
			データチェックお急ぎ便:	¥460
注文合計:				¥50,379
消費税:				¥5,038
ご請求合計金額:				¥55,417
お支払い方法:				コンビニ支払い



コロナ感染対策を講じながら、市政について発信し、市民のみなさまの声を伺っています

## ワクチン接種にあたって

## 要望書を取りまとめ

ここ数年7月に甚大な大雨・洪水などの被害が発生しています。コロナ禍で厳しい生活を余儀なくされて

いるのに加えて全国各地の被害状況を目の当たりにして、改めてお亡くなりになられた方たちのご冥福と、

被害にあわれた方たちへのお見舞いを申し上げます。さて6月議会は、7日から28日までで報告4件、市長提出議案3件、議員提出議案1件、および選管と補充員の選挙がありました。山口みさえは、報告1件（協力金について）議案4

件（特別職の給与減額、J R南再開発関係と修正案、市長への問責決議）の討論に立ちました。民生文教常任委員会では、コロナワクチンの進捗状況などを所管課から説明を受け委員会として、意見をまとめて市に要望書を提出しました。その他、この間市職員のパワハラ問題を取り上げてきた、議会側の問題点を3項目にまとめ（山口私案）議長、副議長に文書を提出しました。

芦屋市議会議員

山口 みさえ

### 9月議会の主な日程

- 8月
  - 27日(金) 議会運営委員会
  - 30日(月) 【本会議】開会
- 9月
  - 8日(水) 【本会議】一般質問
  - 9日(木) 【本会議】一般質問
  - 10日(金) 【本会議】一般質問等  
【決算特別委員会】
  - 22日(水) 【決算特別委員会】  
建設公営企業分科会
  - 24日(金) 【決算特別委員会】  
民生文教分科会
  - 27日(月) 【決算特別委員会】  
総務分科会
- 10月
  - 4日(月) 【決算特別委員会】
  - 7日(木) 【議会運営委員会】
  - 8日(金) 【本会議】閉会

# 情報発信、人権への配慮を要望

## ワクチン接種にあたって民生常任委員会で要望書まとめる

新型コロナワクチンが国の方針で5月から本格実施となりました。国の対策はいつも無策で自治体が振りまわされっぱなしです。6月に大規模接種会場を自治体に準備させておきながらワクチンが足りないからと各地で中止や延期が相次いでいます。

芦屋市では6月9日の民生文教常任委員会でワクチン接種の現状について報告を受けました。各委員から質疑や要望もたくさん出されましたが、委員会として市に要望書を提出しようと山口みさえが提案(^)/、市民の命を守り安全に、そして人権に配慮を十分行うよう要望書をまとめ市長に提出しました。要望内容は上記のとおり。

### 要望事項

- 1 ワクチン接種については、様々な情報が出回っており、ワクチン接種を希望する方が安心して安全に接種できるように、市として、ワクチンの有効性、接種後の副反応、安全性の評価などの正確な情報の発信に努めるとともに、また、広報紙時号などの紙での媒体も用いたからワクチン接種体制やスケジュールについても迅速な情報発信に努めること。
- 2 ワクチン接種事業の実施に当たり、できる限りダブルチェックなどを用いて、事故防止に努めること。
- 3 新型コロナウイルス感染症の収束には、ワクチン接種を進めていくことが有効な手段だと考える。しかしながら、ワクチン接種を希望しない方や接種を希望したとしても接種ができない方もおり、今後、幅広い世代へ接種が進んでいく中で、差別やいじめなどが起きないように人権への配慮は十分に行うこと。

以

## 市民生活部は市民生活部かす 市民生活部は市民生活部かす

市が業務を民間に委託するときは、当然関係する条例や規則、仕様書などを遵守するよう業者と提携します。コストを削減しつつ市民サービスは民間のノウハウを活用して向上させるというわけですが、実態はどうでしょうか？大いに疑問な点を山口みさえは議会で指摘し改善を求めています。

①2年前に、市内学童保育の半分が民間委託になりましたが、人件費は委託の方が高くなっています。また委託事業者が、児童の指導に関わる人員をボランティア募集していたことが、山口みさえの指摘で明らかになり現在是正されています。

②今年4月から精道認定こども園の病児保育がスタートしましたが、担当する保健士は、1年だけ民間委託しています。保育や教育の

現場で安易な委託を選択するのではなく、公的に責任を持ってほしいと訴えています。

③3年前、奥山浄水場の夜間業務を民間委託にしましたが、この間トラブルが起こったときの適切な対応は、熟練の職員が対応したおかげで、危険を回避できています。現場からは安全に水を提供するために、安易な民間委託ではなく、奥山浄水場の夜間業務は再任用職員で行うよう要求が出されています。その方がコストも安く抑えられます。

④ばいじん処理業務を民間委託にしてから、搬入受入れ停止措置を受けました。業者はばいじんを処理するための薬の種類を変更し、薬の量を減らしていました。行政いわく、基準を満たしているとのことで問題はないとのことでしたが、原因究明が急がれます。

# ひまわりはやて学級の教室確保を

## 精道小学校学童保育、児童数増加に対応できず仮教室で運営

市内8つの小学校内に学童保育の専用施設が保障されていますが、精道小学校「ひまわりはやて学級」だけが専用の教室ではなく、学校の算数教室を間借りしています。昨年児童数が増加することはわかっていたのですが、教育委員会の準備が遅れたためです。

これまでも児童数が増加し、小学校内に空き教室がない場合は、プレハブ教室を設置するなどして対応してきました。子どもたちの第2の家庭である学童保育の部屋を1日も早く保障してほしいという山口みさえの質問に対して、教育委員会から、「児童数の情報を調査して長期的に使用する必要があるれば専用教室を早めに来年度の予算で確保するよう動きたい」との答弁がありました。

子どもたちのことを考えれば、補正予算を組んででも早急に専用教室を確保してほしいと願います。



毎回、机や必要な道具を移動させなくてはならない

コロナ感染拡大を受けて、飲食店等事業所はこの間、営業時間の短縮などに協力してきました。芦屋市内では県・市が協調して支給する協力金に、今年1月363件が申請、その内審査の結果354件が支給されました。問題なのは協力金支給の申請が5期目なのに、まだ1期分しか支払われていません。

各市町村によって協力金が出る期間も、事業所の規模によっては金額も違うのですが、申請受付、審査、支給を県が一括してやっているのに、支給までに時間がかかりすぎるといことです。

飲食店等にすれば、今月の家賃、今日の人件費の捻出に困っているのに、県に代わって市が先に財源を立て替えて支給しておくよう

提案しました。

市当局からは前向きな答弁がいただけませんでした。山口みさえの主張は、例えばコロナワクチンに関する予算は、一般財源で補正を組んでおいて、国から補助金が入ってきたら財源構成するやり方を芦屋市はとっています。それと同じ考え方で、飲食店等を救うために、市で先に協力金を一定の額一般財源や基金で出しておいて、後で県から支給される協力金でプラスマイナス精算すればいい話です。

確かに市の事務は大変にはなりますが、市民の命と暮らし、飲食店等を救うために、協力金の迅速な支給に市長にも職員にも頑張ってもらいたいと訴えました。

# 新型コロナウイルスワクチン接種 開始にあたって山口みさえが質問

65歳以上の方の2回接種は完了予定。

(市) 大規模接種と、クリニックでの接種をわけて予約を取るはずが、接種券と予約票を配った段階でクリニックに問い合わせが殺到した。通常業務に支障をきたさないため、予約は全て市が行うことに変更したが、予約電話回線8本では到底スムーズな予約ができなかつた。大きいに反省している。

(市) 特例承認である。抗体の持続は半年から1年といわれているが、明確ではない。副反応が出る場合もある。今までに使用されたことがないワクチンなので数年後にどのような反応が出るかは世界中誰もわからない。

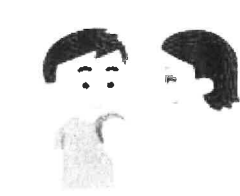
(市) 接種会場には、相談コーナーが設置されて

いて薬剤師が対応している。また接種をする際の子診の時に医師の診断も受けるのでそこで一定の対応ができています。

## 山口みさえのひとこと

ワクチンは、強制ではなく任意です。新型コロナウイルスがまん延して、1年半以上となり、1日も早い収束と日常生活を取り戻したい思いは、市民のみなさんと山口みさえも同じです。まん延防止にワクチンが有効とも考えます。ただ緊急時だからこそ、冷静にあふれる情報に振り回されることなく、ワクチンについての正しい情報を1人ひとりが判

断して接種をするかしないかの判断をしていただきたいと思います。7月7日現在厚生労働省が発表したワクチン接種後に亡くなった方の件数は556件ですが、ワクチン接種との因果関係はほとんどが不明ということですが。



ただ国が示す7月末までに

(市) 申請があれば通常は調査委員会が開かれるが、それは飛ばして県や、国にあげていく。

あとで知らなかったというのではないよう、安全性の評価など丁寧な情報発信を市に求めました。

## みさえのひとり言

2013年にデビューしたヒップホップグループBTSにはまっている。彼たちが組を録画して、何回も観ては軽快な音楽とダンスに合わせて私も一緒に踊っている。でもなんだかなく盆踊りみたいになってしまふな〜と思っている。後ろでウスクス娘が笑いながら、私の動画を撮影して「お母さんそれどうみてもシャコ踊りやで」「でへ、やつぱりそう見える?」それでもいつか誰かに私のダンスを披露することがあるかもしれないと、日々レッスンをしている。今度は、「どたとたうるさ〜い」とお叱りを受けた。「やつぱりうるさかった?」娘曰く「下の部屋から苦情来るぞ!」レッスンはほとんどしなくなります。